

ロングアドベンチャー

8月2日(日) ~ 8月7日(金)

IN 兵庫県立兔和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	レクリエーション大会 野外炊飯	振り返り
2日目	秘密基地づくり	秘密基地づくり 野外炊飯	振り返り
3日目	野外炊飯 作戦会議	名札づくり	振り返り
4日目	川遊び	買い出し 手巻き寿司パーティー	振り返り 星空就寝
5日目	野外炊飯 宿題タイム	野外炊飯 スタンプ練習	キャンプファイヤー
6日目	施設清掃	施設を出発 解散式	

一日目： TOP最長キャンプ5泊6日の『ロングアドベンチャー』が幕を開けました。6日間の長い冒険へ出発する14名のメンバーが大きな荷物を抱えて尼崎駅に集まりました。今年のロングアドベンチャーは例年と違いグループがありません。14名全員で全てのプログラムに挑戦していきます。途中のサービスエリアで自己紹介と昼食を済ませ、昼過ぎに施設へ到着しました。キャンプ場へ移動し、まずは6日間生活するキャンプ場を探検しました。野外炊飯場やトイレなどの場所を確認後、自分達のテントを決め、手分けして荷物や寝袋を運び入れました。その後はもっと仲良くなろうと芝生広場でゲーム大会をしました。短い時間でしたが存分に走り回っていました。休憩後、夕食の準備に取りかかろうとした頃から空が暗くなり夕立が降り始めた為、予定を変更し管理棟で夕食の焼きそば作りをしました。初めてのご飯作りでしたがキャンプ経験者が中心となり、役割分担や作業を進めていました。入浴後の振り返りでは、まだ全員の顔と名前が一致していないとの声もあり、明日からはもっと自分をアピールしていこうと意気込んでいました。



二日目： 慣れない寝袋とテントということもあってか少し眠たそうなメンバーもいました。二日目のメインプログラムは秘密基地づくりです。まずは基地の場所を決める為の話し合いが始まりました。みんながイメージする秘密基地の条件を出し合いながら、一番適した場所を選んでいきます。今年のロングアドベンチャーのテーマが『仲間とがんばる!』と『とことんやる!』の2つでした。6日間と時間はたっぷりあるロングアドベンチャー。この場所決めの話合いもジャンケンや多数決では決めず、とことん話し合いました。それぞれの場所に強い想いがあり、どうすれば相手に伝わるのかと必死でした。約一時間の話し合いの末ようやく場所が決まりました。決まった瞬間はどこかスッキリした様子が見られました。そこからはブルーシートとロープを使い屋根を張ったり、枝や石で基地を飾り付けたり、遊び場を作ったり次から次へアイデアが溢れていました。基地づくりが一段落したら作戦タイムです。テーマをみんなでかみ砕きながらこれからのキャンプで挑戦したいことを模造紙に書き、発表し合いました。夕食はカレーを作りました。このキャンプで初めてかまどを使った野外炊飯ということで係り決めではかまどが大人気でした。ここでまた話し合いが始まりました。様子を見守っていると、譲るメンバーもいれば「やりたい!」の一点張りのメンバーもいました。最後はみんなが納得して決まり、カレー作りを再開しました。みんなとても手際が良くあっという間に美味しいカレーが完成し満足そうでした。少しずつ自己主張が強くなり始めた二日目。自分の気持ちと友達の気持ちどちらも大切にしたいときはどうすればいいのかな?



三日目： 起床時間より少し前に声が聞こえ始めました。朝の活動準備の流れにも慣れ自分達で次々と行動していました。この日は川遊びの予定でしたが朝から一波乱あり、全員で出発することが出来なくなりました。状況を知らないメンバーもいたので、まず何が起きたのか、今どうして全員で川遊びに出発できないかということを中心に伝えました。するとメンバーの口から「早く川遊びがしたい!」、「話し合う人だけ残って話し合いが終わったら一緒にやる。」、「一緒に行きたい!」、「みんなで行けないならキャンプのテーマの意味がない。」と様々ですが、どれも素直な意見が出ました。そこから長い話し合いが始まりました。話し方は決して上手いとは言えませんが、一人一人が自分の素直な気持ちをみんなにぶつけていました。ようやくみんなが納得し行動に移した頃には、川遊びへ向かう時間は過ぎてしまっていたのですが、友達のことを思い自分に置き換えながら話し合いを最後までやりきったみんなの表情はスッキリとしていました。その後は秘密基地で名札をつくったり、秘密基地を飾り付けたりとみんなでのんびり過ごしました。



四日目： だんだんと体も疲れてきたのか、どのテントも起床時間ギリギリまで静かになりました。朝食は野外炊飯場でダッチオープンパンをしました。パン生地を手にくっつかないように丸め、順番に焼いていきます。ここまでの3日間でメンバー同士も性格や言動を分かってきたようで、苦戦するメンバーへの説明や指摘もとてもわかりやすく感心させられました。片付け後、待ちに待った川遊びへ出発です。みんなでキャンプ場を飛び出し、ロングアドベンチャーで一番の試練と言っても過言ではないハイキングが始まりました。約8.5km先の川遊び場所まで歩いて向かいます。歩き始めは景色の良い下り道が続き口数が多く賑やかだった行列も、疲れからか楽しいおしゃべりが次第に不満やキツイ口調へと変わっていきましました。それはすぐに広がり、もう歩きたくない…という本音を漏らすメンバーもいましたが、その空気に流されずずっと楽しそうに歩いているメンバーもいました。一人一人の表情は様々でしたが、「川遊びがしたい！」という気持ちは同じで必死で歩きました。ゴールが見えた時は、嬉しさからみんな自然と走りだしてしまいました。川遊びの時間は長くはありませんでしたが、これまでの三日間では見られなかった笑顔が弾けていました。帰り道の途中にあるスーパーで手巻き寿司担当とピザ担当に分かれそれぞれに相談して決めた食材を買い、夕食は手巻き寿司パーティーをしました。入浴後、本日最後のプログラム星空就寝です。広い芝生にシートを敷き、星空を見上げながら眠りにつきました。



五日目： 昨日体をたくさん動かし相当疲れていたようで、朝一番のドッキリのような出来事にも気づかずぐっすり寝ていました。五日目はこのメンバーで丸一日過ごせる最後の日。夜には楽しみにしているキャンプファイヤーがあり、そのファイヤーでは、くじで決めた3つのグループごとにスタンツを披露する予定です。朝食後、昼食のピザ生地をこね、発酵させている間に各自持ってきた宿題タイムにしました。途中休憩をはさみながらですが、予想以上に集中して取り組んでいました。その後、自分達で時間を掛けて決めたピザ作りのペアでトッピングと焼く作業を行い、ペアと相談して作った美味しそうなピザを頬張っていました。片付けもテキパキ済ませ、そこからは時間の許す限りスタンツを考える時間をとり、グループごと思い思いの場所で考えていました。集中が途切れたり、時には言い合いをしたりしながらもファイヤーの直前までグループで考えていました。そしていよいよキャンプファイヤーの時間になりました。入場の時点からみんなのテンションはMAXで早くも音楽に合わせて踊っていました。火が着く前から勝手に踊り始めるという新しい幕開けで始まったファイヤーは人数の少なさを感じさせないくらい大盛り上がりでした。グループごとのスタンツも披露しているメンバーがとても楽しそうでした。楽しくなりすぎて少々暴走する場面もありましたが、見ている側も自然と笑顔になりました。終盤には五日間一緒に過ごしたリーダーからの言葉に感動しつつも、最後は笑顔でファイヤー場を後にしました。



六日目： ついに最終日です。最終日の朝は今までのゆっくりとした朝とは違い、やる事がとても多く大忙しです。朝食を素早く済ませ、手分けして備品の片付けと六日間生活したキャンプ場の大掃除をしました。テント、野外炊飯場、管理棟、トイレと掃除場所はたくさんありましたが、この六日間言われ続けた“できることを探す”に取り組もうとするメンバーの姿がありました。時間内に全て掃除を済ませ、施設の方にも「とてもきれいです！」と褒めていただけました。最後に秘密基地をみんなで解体し、行きより少し重くなった荷物を抱えテントサイトを出発しました。昼食はみんなで円になりキャンプ場での最後の時間を楽しみました。帰りのバスでも話しは絶えることはなく、疲れて眠るメンバーもほとんどおらず尼崎駅まで賑やかに戻ってきました。久しぶりの家族との再会に一気に緊張の糸が緩み、甘える姿もあり微笑ましかったです。



<キャンプ総括>

今年のロングアドベンチャーは例年とは異なるグループの形で行いました。人数が多いと人手が増え作業は捗るように思われますが、実際は素早く動けるメンバーと動き出しに時間がかかるメンバーとで仕事量に大きな差が生まれたり、人数が増えた分だけ意見の種類も増え一つの事を決めるのにとっても時間がかかったりと難しいことも多くありました。また6日間、慣れない場所で常に誰かと生活を共にするという事は大人でもしんどく感じます。何もかもが思いどおりにいかない環境だからこそひとりひとりの弱さが見え、時には負の空気にみんなが流されることもありましました。しかし、そんな状況を変えたのはリーダーではなくメンバーのみんなでした。今回のテーマ『仲間とがんばる』、『とことんやる』をメンバー自身が口に出し、指摘したり励ましたりと行動する姿からキャンプ前半には見られなかった“自分達のキャンプだから”という強い想いを感じました。想いを口に出ることが、伝えようと行動することが相手と本気で向き合うことなのだ、6日間一緒に過ごしたメンバーやリーダーから教わりました。普段の生活でも、弱さを見せられる仲間と納得するまでとことんやりきる強さを大切にもっともっと輝いてほしいです。6日間本当によく頑張りました！また会いましょう！（生本 ひろみ）